
とある科学の最終手段（ラストリゾート）

パラドックス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある科学の最終手段^{ラストリゾート}

【Nコード】

N3778J

【作者名】

パラドックス

【あらすじ】

学園都市。そこである計画が実行されようとしていた。その目的は明確だった。学園都市の攻撃だ。だが、何か様子がおかしい。それは魔術サイドからの攻撃ではなかった。科学サイドからの攻撃だったのだ！！科学と科学が交差する時、物語は始まる？！

プロローグ（前書き）

えー、初めまして。パラドックスです。

まあ文才がないのは仕方ないとして（あ、仕方なくないですかww）、一応頑張って書いているつもりなので、読んでいただけると嬉しいです。・・・はい。

更新はなるべく早くしたいとは思っていますが、一応高校一年でも少し忙しいので更新が遅れることもあると思います。すみませんが、ご了承ください。

設定としては、とある科学ととある魔術を合わせたような感じです。といっても、魔術側はほとんど出てこないです。インデックスは出そうとは思っていますが、たぶんそれほど活躍する場面はないと思います。一応主人公はとある科学ととある魔術を合わせたということで、御坂美琴と上条当麻です。

プロローグ

太平洋上に浮かぶとある人工島。

その周囲にはあらゆる電磁波を遮る不可視の壁が存在し、外部からはその島を見ることができない。

無論、航空航路などからは完全に外れている。

もしその島を見ることができた人間がいたら、その島が何故それほど嚴重な警戒が必要なのか、その価値が分からなかったことだろう。

普通の人間からすれば、その島は単なる孤島であり、山しかない何の価値もない島だからだ。

だが、ある研究者達から見ればその島がただの島ではないということが分かったかもしれない。

もしその眉唾ものの、まさにオカルトと呼ばれる存在を研究しつづけている者がいたとしたら、そこに価値を見つけることができたかもしれない。

彼らにとってこの島は、まさにオカルトが理論として確立された存在に変わった瞬間を見ていることと同義だっただろう。

『・・・ステージ1をクリア。続いてステージ2へ移行します・・・』

『A I M拡散力場にコンタクト。・・・波形を確認。時空構造のスケール変換を実行。・・・データ収集開始・・・』

『温度、圧力、共に正常値・・・』

『・・・にアセチルコリン投与。脳波・脳磁波測定。・・・数値は正常を維持・・・』

「・・・ここからが本番だ・・・」

彼ら、『超能力』を研究している者にとっては、それはまさに神の奇跡だと思ったに違いない。

学園都市極秘回線での報告

学園都市の外部監視衛星の一基から巨大な爆発を観測したとのデータが送られてきました。

データによると太平洋上で突然爆発が起きたということですが、その原因は不明。

しかし、爆発の規模からみて通常兵器とは明らかに違くと推測されています。

その爆発の規模は、T N T火薬換算で約数千メガトン。水爆でもその規模の実験が成功した例はありません。

詳しくは現在調査中ですが、能力者による能力の暴走の可能性もあります。追って連絡します。

プロローグ（後書き）

え〜どうでしょうか？ W W W

一応プロローグです。

感想を書いていただけるとありがたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3778j/>

とある科学の最終手段（ラストリゾート）

2010年10月10日03時45分発行